

エネルギー・資源（第2巻）総目次

Vol. 2 No. 1～6（昭和56年1月～11月）

・分類は下記によった。

- | | | | |
|------------|------------|----------|--------------|
| (1) 巻頭言 | (2) 論説 | (3) 展望 | (4) 解説 |
| (5) 特集 | (6) シリーズ特集 | (7) 技術報告 | (8) 書評(新書紹介) |
| (9) グループ紹介 | (10) 会員の声 | | |

(題 名)	(所 属)	(執筆者)	(頁 数)
(1) 巻 頭 言			
新年を迎えて……………エネルギー・資源研究会会長 東北大学学長		前 田 四 郎	Vol.2 No.1- 1
(2) 論 説			
水—エネルギーの潜在需要者……………東京大学総長		向 坊 隆	Vol.2 No.1- 3
エネルギー需給の基本問題……………大阪大学工学部機械工学科教授		石 谷 清 幹	Vol.2 No.1- 5
80年代のエネルギー問題……………東京大学工学部船舶機械工学科教授		平 田 賢	Vol.2 No.1- 10
エネルギーに関する経済学的諸問題……………京都大学経済研究所教授		森 口 親 司	Vol.2 No.1- 14
自然エネルギー開発研究の将来……………早稲田大学理工学部建築学科教授		木 村 建 一	Vol.2 No.1- 17
(3) 展 望			
原子力発電の現状と将来……………東京芝浦電気㈱原子力事業本部技師長		大 村 達 郎	Vol.2 No.2- 1
電気エネルギーの輸送について……………住友電気工業㈱研究開発本部 開発企画部部長補佐		勝 矢 寛 雄	Vol.2 No.2- 6
世界の鉱物資源の現況と問題点……………山形大学理学部地球科学教室教授		大 町 北 一郎	Vol.2 No.3- 1
水力発電の現状と将来……………電源開発㈱工務部		山 田 昌 平	Vol.2 No.3- 9
世界エネルギー経済予測における政治経済的背景 ……………(財)日本エネルギー経済研究所理事		高 垣 節 夫	Vol.2 No.4- 1
新型転換炉開発の現状と展望……………動力炉・核燃料開発事業団 開発本部 副 本 部 長		澤 井 定	Vol.2 No.5- 1
“ 主任研究員		小 堀 哲 雄	
太陽エネルギーの光選択吸収面開発の現状と将来 ……………工業技術院名古屋工業技術試験所第5部第3課主任研究官		種 村 栄	Vol.2 No.5- 8
サンシャイン計画（新エネルギー技術開発）の現状と今後の方向 ……………工業技術院総務部技術審議官		高 田 利 男	Vol.2 No.6- 1
エネルギー資源としてのバイオマス ……………東京工業大学大学院総合理工学研究科化学環 境工学専攻博士課程		松 田 智	Vol.2 No.6- 7
東京工業大学資源化学研究所教授		久保田 宏	
(4) 解 説			
電気エネルギー需給システムにおけるエネルギー問題 ……………京都大学工学部電気工学科教授		上之園 親 佐	Vol.2 No.2- 14
省エネルギー診断・分析・対策のためのシステムの手法 ……………大阪府立工業技術研究所化学工学研究室室長		吉 田 総 夫	Vol.2 No.2- 22
大阪府産業能率研究所工業経営部 大阪エンジニアリング㈱		梶 原 孝 中 井	
濃度差エネルギーシステムとエンジン (第1報) 濃度差エネルギーシステム ……………東京工業大学工学部生産機械工学科教授		一 色 尚 次	Vol.2 No.3- 17
快適な環境と省エネルギー……………(財)政策科学研究所研究員		恵 小百合	Vol.2 No.3- 23
日本における石炭利用の問題点 ……………通産省工業技術院大阪工業技術試験所 第5部燃焼化学研究室室長		佐 野 寛	Vol.2 No.4- 11

濃度差エネルギーシステムとエンジン

(第2報)濃度差エンジン……東京工業大学工学部生産機械工学科教授
新エネルギー総合開発機構(NEDO)について

一 色 尚 次 Vol.2 No.4- 17

……………新エネルギー総合開発機構総務部長

島 田 仁 Vol.2 No.6- 15

新エネルギー財団について……………新エネルギー財団専務理事

橋 本 昭 一 Vol.2 No.6- 22

(5) 特 集

〔特 集〕 省エネルギー…………… Vol.2 No.1

省エネルギー法とその活用について

……………資源エネルギー庁省エネルギー対策課

菊 岡 栄 次 Vol.2 No.1- 22

熱交換プロセスの省エネルギー構成とアプローチ温度

……………京都大学工学部化学工学教室教授

高 松 武一郎 Vol.2 No.1- 27

…………… ” ” ”

高 仲 勇 治

…………… ” ” ”

寺 下 雅 之

…………… ” ” ”

高 田 康 晴

小温度差エネルギーシステムにおける作動媒体

……………東京農工大学工学部化学工学科教授

乙 竹 直 Vol.2 No.1- 33

工業電解の省エネルギー

……………横浜国立大学エネルギー材料研究施設教授

高 橋 正 雄 Vol.2 No.1- 38

ボイラー等による排熱回収システム……………(株)平川鉄工所常務取締役

高 溝 潤 泉 Vol.2 No.1- 45

燃料電池による民生用省エネルギーシステム

……………大阪瓦斯(株)技術開発室課長

森 英 雄 Vol.2 No.1- 51

省エネルギー機器としてのヒートポンプ

……………日立造船(株)技術研究所熱・機構研究室部長

中 西 雄 哲 Vol.2 No.1- 57

…………… ” ” 主事

古 川 哲 郎

…………… ” ” ”

井 上 史 朗

省エネルギー機器としてのヒートパイプ

……………東北大学工学部化学工学科教授

大 谷 茂 盛 Vol.2 No.1- 64

家電商品の省エネルギー化の取り組みについて

……………松下電器産業(株)技術本部参事

北 澗 弘 光 Vol.2 No.1- 71

省エネルギーのための断熱工法について

……………(株)ノザワ業務本部販売促進部長

佐 藤 貞 止 Vol.2 No.1- 75

〔特 集〕 採鉱技術からみた資源開発…………… Vol.2 No.2

マンガン・ジュールの開発の概要

……………公害資源研究所資源第4部第1課長

伊 藤 福 夫 Vol.2 No.2- 29

マンガン・ジュールの採鉱技術について

……………公害資源研究所資源第4部第1課長

伊 藤 福 夫 Vol.2 No.2- 38

海水からの核燃料資源の回収について

……………大分工業大学工学部土木工学教室教授

古 屋 仲 芳 男 Vol.2 No.2- 45

バクテリアを利用した低品位鉱よりの金属資源の回収

……………京都大学名誉教授 福井工業大学工学部教授

伊 藤 一 郎 Vol.2 No.2- 51

採炭技術と保安技術……………公害資源研究所資源第4部部長

大 場 重 美 Vol.2 No.2- 58

金属鉱物資源の採鉱技術……………秋田大学鉱山学部採鉱学科教授

天 野 勲 三 Vol.2 No.2- 63

我が国における石灰石鉱床の露天採掘について

……………小野田セメント(株)鉱業部次長

神 山 真 澄 Vol.2 No.2- 70

石油技術からみた地下資源開発……………秋田大学鉱山学部採鉱学科教授

田 中 正 三 Vol.2 No.2- 76

〔特 集〕 植物資源のエネルギー化…………… Vol.2 No.3

石油植物の探索……………東京農業大学育種学研究所教授

近 藤 典 生 Vol.2 No.3- 28

海洋性植物のエネルギー利用

……………東京工業大学工学部高分子工学科教授

山 崎 升 夫 Vol.2 No.3- 33

資源・エネルギーとしての木材……………京都大学木材研究所教授

越 島 哲 夫 Vol.2 No.3- 38

糖質のアルコール醗酵……………大阪市立大学理学部学部長教授

山 本 武 彦 Vol.2 No.3- 44

固定化微生物のエネルギー化への応用

……………東京工業大学資源化学研究所助教授

軽 部 征 一 Vol.2 No.3- 51

…………… ” ” 教授

鈴 木 周 吉

エネルギー生産農業の生物学的基礎……………東京農業大学総合研究所教授

村 田 吉 男 Vol.2 No.3- 57

〔特 集〕 エネルギー経済・エネルギーシステム…………… Vol.2 No.4

(1) エネルギーと産業構造—世界経済の視点から—

……………慶応義塾大学経済学部教授

尾 崎 巖 Vol.2 No.4- 23

(2) 枯渇性資源と経済成長……………富山大学経済学部助教授

増 田 信 彦 Vol.2 No.4- 32

(3) エネルギーと設備投資……………名古屋大学経済学部助教授

木 下 宗 七 Vol.2 No.4- 38

(4) エネルギー・アナリシスとその方法

……………東京大学工学部電気工学科教授

茅 陽 一 央 Vol.2 No.4- 45

…………… ” ” ” 博士課程

手 塚 哲

(5) 日本におけるエネルギー・モデル開発の現状

……………埼玉大学教養学部助教授

室 田 泰 弘 Vol.2 No.4- 53

(6) 地域エネルギー……………大阪大学工学部電気工学科教授

鈴 木 弘 胖 Vol.2 No.4- 60

〔特 集〕 新燃焼技術			Vol.2 No.5
(1) 接触燃焼法の研究開発	(財)電力中央研究所 エネルギー・環境技術研究所環境化学部 立地環境研究総括室	福 澤 久 石 原 義 己 金 森 聖 二 伊 藤 博 一	Vol.2 No.5- 18
(2) ボイラ用ガス噴霧式オイルバーナ	ボルカノ(株)事業本部開発部長		Vol.2 No.5- 24
(3) 重質油燃焼の諸特性	三菱重工業(株)長崎研究所燃焼伝熱研究室室長	坂 井 正 康 熊 倉 孝 尚 石 橋 洋 二 田 村 節 夫	Vol.2 No.5- 32
(4) エマルジョン燃焼	船舶技術研究所機関開発部主任研究官		Vol.2 No.5- 38
(5) 石炭のガス化燃焼	(株)日立製作所機械研究所第5部主任研究員		Vol.2 No.5- 44
(6) COM燃焼	(株)神戸製鋼所鉄鋼生産本部生産技術部開発担当部長 成田貴一・前川昌大・出口幹郎・阿部 享・鈴木富雄		Vol.2 No.5- 51
(7) 微粉炭燃焼	川崎重工業(株)技術研究所熱工研究室室長	加 藤 幸 三 玉 貫 滋	Vol.2 No.5- 59
(8) 石炭流動層燃焼技術	(財)石炭技術研究所理事石炭利用技術部長		Vol.2 No.5- 66
〔特 集〕 石炭の液化・ガス化技術			Vol.2 No.6
(1) 炭素系資源の高度利用	京都大学工学部石油化学科教授	武 上 善 信 森 永 憲 二 富 永 博 夫 真 田 雄 三 田 部 浩 三	Vol.2 No.6- 26
(2) 石炭液化に関する課題	(株)神戸製鋼所機械研究所主席研究員		Vol.2 No.6- 32
(3) 石炭の間接液化プロセス	東京大学工学部合成化学科教授		Vol.2 No.6- 40
(4) 石炭の直接液化	北海道大学工学部石炭系資源実験施設教授		Vol.2 No.6- 46
(5) 石炭直接液化の触媒	北海道大学理学部教授 " 助教授 " 助教授	服 部 英 勝 玉 井 康 彰 富 田	Vol.2 No.6- 54
(6) 石炭の接触ガス化	東北大学非水溶液化学研究所教授 " 助教授		Vol.2 No.6- 61
(7) 石炭ガス化に関する諸問題	大阪瓦斯(株)技術開発部マネージャー専門部長	富 久 登	Vol.2 No.6- 68
(6) シ リーズ特 集			
化学工場における省エネルギーの考え方	住友化学工業(株)千葉製造所省エネルギー推進室室長	馬 場 進	Vol.2 No.2- 81
セメント工業における省エネルギー	小野田セメント(株)中央研究所所長	菊 池 央	Vol.2 No.3- 64
繊維工業における省エネルギー対策	ユニチカ(株)技術開発本部施設技術部主管	力 武 幹	Vol.2 No.3- 69
ガラス溶融炉の省エネルギー	通産省工業技術院大阪工業技術試験所 第4部ガラス工学研究室	長 岡 欣之介	Vol.2 No.4- 68
廃熱回収発電について	(株)タクマ機械本部技術第1課長	林 重 利	Vol.2 No.4- 75
農機製造部門における省エネルギー	久保田鉄工(株)堺製造所生産技術部部長	川 崎 晃 美 羽 鳥 鷹 兵	Vol.2 No.5- 73
自動車産業における省エネルギー	トヨタ自動車工業(株)参与		Vol.2 No.6- 74
印刷産業における省エネルギー対策	大日本印刷(株)技術本部第2部主任技術員	渡 辺 鉄 男	Vol.2 No.6- 82
(7) 技 術 報 告			
電気鉄道における省エネルギー機器について	三菱電機(株)伊丹製作所交通技術部システム第2グループ	居 蔵 和 徳	Vol.2 No.1- 79
自動車に対する熱工学的見解に基づく省エネルギーの一考察	室蘭工業大学工学部産業機械工学科助教授	岸 浪 紘 機 田 丸 博 文	Vol.2 No.1- 86
日韓大陸棚石油試掘について	資源開発投資(株)取締役社長		Vol.2 No.2- 86
藤原鉱山におけるモービルクラッシャーの操業について	小野田セメント(株)藤原鉱業所	恵 良 慶 一	Vol.2 No.2- 90
平面鏡と曲面鏡を使用した太陽熱発電システム	(株)日立製作所エネルギー研究所主任研究員	隅 田 勲 竹 田 策 三	Vol.2 No.3- 75
ガソリン代替としてのユーカリ油	三重大学農学部農業機械学科教授		Vol.2 No.3- 82
醗酵法によるアセトンおよびブタノールの生産	合同酒精(株)常務取締役	根 元 茂	Vol.2 No.3- 88
ヒートポンプボイラシステムによる高効率熱供給技術の開発研究	北海道大学工学部機械工学科教授	谷 口 博 笠 原 敬 介 太 田 淳 一	Vol.2 No.4- 81
海水からのウラン採取用吸着剤の開発	工業技術院四国工業技術試験所化学部長	宮 崎 秀 甫	Vol.2 No.5- 79
逆浸透膜法による海水淡水化装置の運転例について	栗田工業(株)技術推進本部技師長 社長室部長	木 島 二 郎 草 野 三千雄	Vol.2 No.5- 84
高温加熱炉における最適火炎制御法	(株)神戸製鋼所機械研究所要素技術研究室主任研究員 大谷啓一・鈴木富雄・阿部 享	森 本 浩太郎	Vol.2 No.5- 92

合金の形状記憶効果とその応用……………大阪大学産業科学研究所教授	清水 謙 一	Vol.2 No.6- 87
家庭用燃焼機器の技術的發展—省エネルギーと快適性の追求— ……………三菱電機㈱応用機器研究所グループマネージャー	野間 口 有	Vol.2 No.6- 93

(8) 書 評

「エネルギーを考える」……………京都大学工学部化学工学科助教授	荻野 文 丸	Vol.2 No.1- 94
「太陽エネルギーと燃料」……………大阪大学基礎工学部化学工学教室教授	坪村 宏	Vol.2 No.2- 95
「日本経済の世界戦略—20世紀最後の20年をどう勝ちぬくか—」 ……………大阪工業技術試験所第5部燃焼化学研究室室長	佐野 寛	Vol.2 No.3- 94
「エネルギーと環境」……………大阪府立大学工学部航空工学科教授	沢田 照 夫	Vol.2 No.3- 95
「選鉱技術」……………京都大学工学部資源工学科教授	若松 貴 英	Vol.2 No.4- 87
「新エネルギーのすべて—石油危機時代はのりきれるか—」 ……………大阪大学工学部機械工学科教授	水谷 幸 夫	Vol.2 No.4- 88
「経済学の神話—エネルギー、資源、環境に関する真実—」 ……………大阪大学工学部機械工学科助教授	中西 重 康	Vol.2 No.5- 98
「Energy Resources」……………京都大学工学部機械工学科助教授	鈴木 健二郎	Vol.2 No.6- 97

(9) グループ紹介

川崎重工業㈱技術研究所エネルギー研究部門 ……………川崎重工業㈱技術研究所エネルギー研究室室長	高 畠 敏 男	Vol.2 No.1- 96
東芝重電部門における新・省エネルギー技術開発 ……………東芝電気㈱電力開発技術部部长	荻 本 和 男	Vol.2 No.1- 97
シャープ㈱における太陽エネルギー利用機器開発 …シャープ㈱ソーラー機器事業本部エネルギー変換研究所副所長	外村 俊 弥	Vol.2 No.1- 98
財団法人電力中央研究所……………(財)電力中央研究所企画部広報課	増本 敏 男	Vol.2 No.2- 97
三菱重工高砂研究所 (ガスタービン燃焼グループ) ……………三菱重工業㈱技術本部高砂研究所所長室主査	今 竹 忠 己	Vol.2 No.2- 98
大阪大学レーザー核融合研究センターの現状 ……………大阪大学附属レーザー核融合研究センターセンター長	山中 千代衛	Vol.2 No.2- 99
関西電力㈱総合技術研究所……………関西電力㈱総合技術研究所副所長	和泉 孝 喜	Vol.2 No.3- 97
荏原製作所資源再生技術部……………㈱荏原製作所再生技術部	平山 詳 郎	Vol.2 No.3- 98
富士電機における新エネルギー技術開発 ……………富士電機製造㈱技術企画本部技師長	穴原 良 司	Vol.2 No.4- 90
日本電池㈱……………日本電池㈱研究開発本部企画室	宇野 淳 二	Vol.2 No.4- 91
㈱数理計画……………㈱数理計画営業推進本部	金森 正 紘	Vol.2 No.4- 92
三菱電機㈱中央研究所エネルギー研究部門 ……………三菱電機㈱中央研究所開発総括室	岸 田 公 治	Vol.2 No.5-100
新日鉄生産技術研究所エネルギー工学研究センター …新日本製鉄㈱生産技術研究所エネルギー工学研究センター所長	藤浦 正 己	Vol.2 No.5-101
公害資源研究所……………工業技術院公害資源研究所総務部業務課長	中 島 義 明	Vol.2 No.5-103
石川島播磨重工業㈱ボイラ事業部 ……………石川島播磨重工業㈱エネルギー事業本部副本部長	大谷 正 夫	Vol.2 No.5-105
㈱竹中工務店省エネルギー建物推進プロジェクトチーム ……………㈱竹中工務店省エネルギー本部副本部長	大井 昭 夫	Vol.2 No.6- 99
㈱大林組技術研究所空調衛生研究室 ……………㈱大林組技術研究所主任研究員・工博	田 中 辰 明	Vol.2 No.6- 98
日本電気㈱・日本電気環境エンジニアリング㈱ (資源・環境グループ)……………日本電気㈱日本電気環境エンジニアリング㈱	池 田 豊	Vol.2 No.6-101

(10) 会 員 の 声

人的エネルギー・資源の結集……………㈱エヌ・エス・メンテナンス社長	田頭 規 夫	Vol.2 No.1-100
無題……………システム技術研究所	槌屋 治 紀	Vol.2 No.1-101
一日も早く電力の全面的原子力化を ……………京都工芸繊維大学繊維学部助教授	加瀬 晋	Vol.2 No.2-100
「熱エネルギーの有効発生と有効利用」に寄せて……………浅川研究所所長	浅川 勇 吉	Vol.2 No.2-101
のどもと過ぎれば……………秋田大学鉱山学部教授	能登 文 敏	Vol.2 No.3- 99
石油・原子力・海洋エネルギーの情報を望む ……………佐賀大学理工学部助教授	上原 春 男	Vol.2 No.3-100
常識への疑問のすすめ……………東京工業大学工学部機械物理学科助教授	土方 邦 夫	Vol.2 No.4- 94
安全学……………㈱島津製作所中央研究所所長	喜多 康 雄	Vol.2 No.4- 95
木の心とエネルギー資源……………ユニチカ㈱中央研究所第6研究室室長	植 嶋 宏 元	Vol.2 No.5-107
化石燃料の埋蔵量と海の大さき……………	丁 生	Vol.2 No.6-102
エネルギー激動の時代に思う……………シャープ㈱ソーラー機器事業本部	西 馬 三 郎	Vol.2 No.6-103